

多高通信

第205号 令和4年11月28日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

「世界津波の日」2022

高校生サミット in 新潟

10月19日(水)～20日(木)に新潟県新潟市の朱鷺メッセを会場とし、日本国内の生徒は対面で開催し、26カ国の生徒がオンラインで参加するというハイブリット形式(使用言語英語)で開催されました。各グループの提案をまとめ、アクションプランというかたちで提言を行い、世界各国との「きずな」を深めることができました。

■2年7組 菊池 航平(高崎中出身)

今回の「世界津波の日」高校生サミットでは全国の高校生だけでなく世界26カ国の高校生たちと英語で防災・減災について話し合い、意見をまとめるという活動を行いました。コロナ禍の影響で直接人と会って議論をするという機会は多くなかったため、とてもいい経験になりました。今回のサミットでは多くの学校の防災・減災に関する研究や気象庁、早稲田大学などの取り組みを聞く機会、他校の生徒と交流する機会を持つことができ、自分の知らない取り組みや研究を知り、自身の課題研究の活力を得ることができました。世界規模の高校生サミットに参加し自身の意見を伝えることができたのは大きな自信につながりました。この経験を活かして今後の進路決定や英語学習に向けて取り組んでいきたいと思えます。



防災フェス

「学防災(まなぼうさい)」参加

11月5日(土)イオンモール新利府店南館を会場に開催された防災フェス「学防災(まなぼうさい)」に、災害科学科1年生の生徒が参加してきました。各家庭における避難方法や家庭備蓄の必要性などを小さなお子さんを抱えるご家族と一緒に考える取組を行いました。

■1年7組 紀室 美月(塩竈一中出身)

私たちは学防災に参加し、ポスター発表やワークショップを行いました。私が参加したワークショップでは、家族連れで来館した親御さんに災害科学科を紹介して、続けて「我が家の防災チェックシート」に記入していただきました。

また、小さなお子さんには災害時に使える紙食器作りや、ペットボトルで再現した液状化現象で楽しく学んでもらいました。このイベントを通して、伝えることの難しさと大切さを知ることができました。



JR東日本における津波避難

意見交換会

災害科学科1、2年生12名が、11月12日に東日本旅客鉄道株式会社宮城野運輸区の協力により、電車に乗っている時に地震・大津波警報が発令された場合の避難方法についての意見交換会を行いました。JR東日本の安全対策を職員の方から紹介いただき、また、課題研究で行っている乗車時の避難行動についての調査結果を発表しました。地震・大津波警報が発令されたときの避難訓練にも参加させていたいただき、日頃なかなか考える機会がない、電車に乗っているときの津波避難の方法を様々な経験を通して幅広い視点から考える貴重な機会になりました。



自転車マナーアップ運動実施

11月14日(月)に、塩竈警察署交通安全課、交通安全指導員、生徒会共同で交通安全街頭指導を実施しました。自転車利用者には、交通ルールを守り、自分の身の安全を確保するとともに、歩行者へ思いやりをもって乗ることが求められています。現在は、自転車もクルマと同じ車両だということ認識を高く持つことが求められています。



サッカー部

県新人戦ベスト16進出!

■2年2組 宮嶋 愛唯(中野中出身)

県新人大会ですが練習の成果を発揮し、一回戦泉松陵高校、二回戦宮城農業高校に快勝しました。三回戦の仙台第三高校との試合では接戦の末、5-2で敗退となり、ベスト16という結果となりました。新チームになり初めての大会でしたが、その分一人一人が緊張感を持ち高い自覚で試合に臨むことができました。今年チームの人数が多いので、冬の時期に刺激し合い、切磋琢磨し基礎から個人の技術を磨いていき、全員で参加できる最後の大会となる県総体に向けて力を付けていきたいと考えています。



男子バスケットボール部 新人仙塩地区予選 代表決定トーナメント進出!

■2年6組 佐々木 翔永(向洋中出身)

これまで2つの大会を経験しました。3年生が引退して、すぐにウィンターカップ予選がありました。2点差で負けて予選敗退となりました。しかし、この悔しい思いが練習の雰囲気を変え大きく変えるきっかけとなりました。



吹奏楽部

日本合奏コンクールソロ部門全国大会

フルート…金賞 トランペット…銀賞

■2年5組 星 颯汰(東豊中出身)

11月19日(土)に千葉市文化会館で開催された全国大会に2名が出場致しました。本番では音色や音程をイメージし、自分の音楽を表現したいように演奏することができました。周りのレベルも高く、目標としていた結果には一歩届きませんでした。コロナウイルスの感染者数が増える中、限られた練習時間で演奏技術を高めることができました。今後は、今後の活動に活かしていきたいと考えています。

